

会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回山形市清掃問題審議会
- 2 開催日時 令和7年7月17日（木）午前10時30分から正午まで
- 3 開催場所 山形市役所10階 1001会議室
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 審議会委員の紹介
 - (5) 会長・副会長の選出について
 - (6) 議事録署名人の選出
 - (7) 報告等
 - ・山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度実績について
 - ・その他（ペットボトルの水平リサイクルの促進について）
 - (8) その他
 - (9) 閉会
- 5 出席者

【委員】國方委員（会長）、鈴木（雅）委員、山川委員、鈴木（淳）委員、長瀬委員、前野委員、横山秀典氏（大久保委員代理）、渡辺委員、大場委員
【幹事】環境部長、廃棄物指導課長、循環型社会推進課長
【書記】循環型社会推進課総括主幹、循環型社会推進課循環型社会計画係長、資源循環推進係長、循環型社会計画係員
【生活排水処理基本計画関係】
廃棄物指導課課長補佐、廃棄物指導課一般廃棄物係長
- 6 傍聴者数
一般傍聴者数 0名 記者数 0名
- 7 資料

（別添資料1）山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度実績について
（別添資料2）ペットボトルの水平リサイクルの促進について
- 8 内容 (1) ~ (6)
 - ・開会後、市長から出席委員へ委嘱状が交付された。

・市長あいさつ

山形市では、将来にわたって元気で活力あるまちであり続けるために、今年の4月から5年間の市の経営計画である「山形市発展計画2030」をスタートいたしました。

引き続き「健康医療先進都市」「文化創造都市」の2大ビジョンを堅持するとともに、産業、雇用、医療、福祉、教育、文化、スポーツといった都市機能の維持と、それらをつなぐ公共交通等の都市インフラの充実や中心市街地の活性化、子育て施策の充実など各種政策を積極的に推進し、山形市が持つ強みを活かしながら、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

とりわけ、環境保全分野におきましては、今年度は新たに、粗大ごみ収集におけるオンライン予約受付の導入や、ごみ袋として使用できるレジ袋導入の実証事業に取り組むなど、「一人ひとりが限りある資源を大切にする循環型の自然豊かな美しいまち」を目指し、市民・事業者の皆様と連携し、様々な取組を進めてまいります。

こうしたまちづくりを着実に進めていくためには、豊富なご経験と、専門的な知識を有しておられる委員の皆様方のご尽力が不可欠でありますので、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日は、山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度の実績や令和7年度の取組予定等についてご審議いただきます。忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

・審議会委員と出席幹事の紹介後、審議会の会長として國方委員、副会長として鈴木委員が選任され、あいさつを頂いた。

・國方会長挨拶

皆様もご存じのように山形市の場合、ごみの有料化を推進し、それにより減量が進んだと思います。ところが、コロナによって流れが変わってしまって、いろいろなごみが増加してしまった。そのコロナもようやく落ち着いてきて、また減量が進んでいる状況になってきていると思います。

ただ、事業系の一般廃棄物が、なかなか減量が進まないと思っております。

ぜひ、皆様方にいろんなアイデアを出していただきながら、ごみの全体的のより一層のリサイクル、そしてより一層の減量化、これを進めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・鈴木副会長挨拶

・議事録署名人について、会長及び会長より指名された大場委員が選出された。

・議長は会長が行った。

(7) 報告等について、循環型社会推進課長が資料に基づき説明を行った。

以下、質疑応答及び議事経過

・山形市一般廃棄物処理基本計画の目標値にかかる令和6年度実績について

発言者	発言要旨
鈴木淳委員	店頭回収に参加したが、市民が食品トレーを持ってきているなど感じた。いい傾向だと思う。

長瀬委員	よその自治体でレジ袋をごみ袋として使えるようにしているとの話を聞いたが、成果とか苦労話とかを聞いてみたい。
事務局	レジごみ袋についてはこれから取り組む予定である。来年度は実証実験になると想定している。

発言者	発言要旨
渡辺委員	レジ袋をごみ袋として使えるとすると、例えば山辺のスーパーで買った袋が山形市に捨てられることもありうると思うが。山形市で使える袋と明示してくれるということか。また、山形市で反応が良ければ近隣に広めていくのか。
事務局	今のところ考えている取り組みは山形市単独の実証実験として山形市内のスーパーでしか売らない形になる。レジのところで山形市で使える袋であることを明示するつもりである。また、取り組みとして紹介はするが近隣自治体に広めていくことは想定していない。
前野委員	リチウムイオン電池の火災事故について耳にする。市としての取り組みはどのようなことをしているのか。
事務局	リチウムイオン電池の処理場での発火事故は昨年度305件発生している。収集業者の方もかなり苦労されていて、市としてもリチウムイオン電池の出し方を広報で啓発している。
県村山総合支庁（横山氏）	食品ロスについて、県でもフードドライブ事業を行っているが市でも考えているか。また、生活排水処理について、単独浄化槽から下水道への切り替えで山間部で対応が必要かと思うが市の対応とか考えがあれば教えていただきたい。
事務局	フードドライブについては今年度は実施していない。さんあ～るというスマホアプリの方で県の取り組みをご紹介させていただいている。 生活排水処理については、市街地についても下水道につないでいない住宅があって、借家だと大家さんの考え方もあり費用がかかるため切り替えが進んでいない状況もある。状況に応じた指導やアドバイスをしながら利用促進につなげていきたい。
大場委員	リサイクル率が低いのが残念。廃プラスチックの処理はどのようにになっているのか。また、その処理においてリサイクル率としてはどうカウントされているのか。市で回収される廃プラスチックが焼却されてリサイクルにまわっていかないのではないか。
事務局	今のところプラスチックは分別して出してくださいとお願いしているが、今のところはサーマルリサイクルとしており、リサイクル率にはカウントされていない。
長瀬委員	リチウム電池の回収方法はどうしているのか。
事務局	イベント回収のときはオイルを入れるような大き目の缶に他の品目と区別して集めており、通常の収集だと分別して出していただいているところは平積みのトラックで回収している。

鈴木委員	さんあ～るは外国の方も利用しているのか。
事務局	利用者は把握していないが、多言語対応している。
鈴木委員	資源物の回収業者で無届の業者を利用しないでほしいとのことだが、認証を確認する方法はあるか。
事務局	怪しい業者は使わないことが第一だが、市でもホームページ等で啓発していく。
國方会長	事業系ごみで工業団地ごとの紙の排出量やリサイクル率といった取り組みの在り方は把握しているか。
事務局	現状では把握できていないが、少しでも事業系一般廃棄物を削減しリサイクル率を向上するために工業団地のようなコミュニティを通して周知していく方法もあると思う。
大場委員	家庭系ごみのように事業系も品目ごとに区分しての表示は難しいだろうか。どの品目がどのくらいの排出量なのか見えると削減に向けた検討の方向性が見えると思う。
事務局	今後の検討課題にしていく。

・ペットボトルの水平リサイクルについて

資料に基づき事務局より説明。委員からの質疑及び発言なし。

(8) その他は特になし。

以上